

【】全数調査と標本調査

[問題](3学期)

次の調査で、全数調査より標本調査が適しているものをすべて選び、記号で答えよ。

- ア 高校の入学試験 イ 内閣支持率世論調査
ウ 自動車の衝突実験 エ 学級での朝の健康観察

[解答欄]

--

[解答]イ，ウ

[解説]

調査の対象となる母集団ぼしゅうだんのすべてのものについて調べることを全数調査ぜんすうちょうさという。国勢調査、学校での健康診断、体力テスト、入学試験など、個々の対象について調査する必要がある場合は全数調査が行われる。

これに対し、母集団から無作為むさくゐに標本ひょうほんを選び出し、母集団の平均値などを推定する調査方法を標本調査という。各種の世論調査のように全数調査では費用や時間がかかりすぎる場合は標本調査が適切である。また、自動車の衝突実験や電球の寿命じゅみょう調査などのように、良否を調べるために壊さなくてはならないような工業製品を調べるときには、全数調査をしては出荷ができなくなってしまうので、このような場合も標本調査が適切である。

[問題](3学期)

次の調査では、全数調査と標本調査のどちらが適切か。

- ① 学校で毎朝行う健康観察 ② 新聞社が行う政党別支持率調査
③ 電球の寿命調査 ④ 高校の入学試験

[解答欄]

①	②	③
④		

[解答]① 全数調査 ② 標本調査 ③ 標本調査 ④ 全数調査

[問題](3 学期)

次の調査は、全数調査と標本調査のどちらで行われるべきか答えよ。

- ① 腕時計の耐久検査
- ② 高校の入学試験
- ③ 有権者の何%が内閣を支持しているかを調べる世論調査
- ④ テレビの視聴率の調査
- ⑤ 年 1 回の A 中学校のスポーツテスト

[解答欄]

①	②	③
④	⑤	

[解答]① 標本調査 ② 全数調査 ③ 標本調査 ④ 標本調査 ⑤ 全数調査

[問題](3 学期)

次の文章中の①～⑥に適する語句を下の[]からそれぞれ選べ。

- ・ある集団の傾向を調べるのに、調査対象のすべてを調べる調査を(①)といい、一部を取り出して調査し、全体の傾向を推定する調査を(②)という。(②)では、調査の対象全体を(③)といい、直接調査する対象として取り出した一部を(④)という。(②)を行うとき(④)の取り出し方にかたよりのあると、調査結果に(③)の性質が正しくあらわれない場合がある。そのため(④)はくじ引きのように偶然に決まる方法で取り出す必要がある。そのような取り出し方を(⑤)という。

- ・0 から 9 までの数字をまったく無規則に、どの数字も同じ $\frac{1}{10}$ の確率で現れるようになら

べたものを(⑥)といい、(⑤)するときに使われる。

[国勢調査 全球調査 全数調査 質的調査 標本調査 出口調査 学力調査 父集団 母集団 準拠集団 関係集団 無作為抽出 偶然抽出 変数 乱数 標本 見本]

[解答欄]

①	②	③
④	⑤	⑥

[解答]① 全数調査 ② 標本調査 ③ 母集団 ④ 標本 ⑤ 無作為抽出 ⑥ 乱数

[問題](3 学期)

ある市の中学生 4500 人を対象に体力テストを行い，その中から 150 人の成績を無作為に抽出して平均点を調べた。以下の各問いに答えよ。

- (1) 母集団の大きさはいくらか。
- (2) 標本の大きさはいくらか。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 4500 (2) 150

[問題](補充問題)

A 市の中学 3 年生は 4582 人である。市内の中学 3 年生の自宅学習時間を調査するために，無作為に 200 人を抽出して調査を行った。次の各問いに答えよ。

- (1) 母集団は何か。
- (2) 母集団の大きさはいくらか。
- (3) 標本の大きさはいくらか。
- (4) 標本の学習時間の平均が 2.3 時間ならば，この中学 3 年生全員の平均の学習時間は何時間と推定されるか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)		

[解答](1) A 市の中学 3 年生全員 (2) 4582 (3) 200 (4) 2.3 時間

【】母集団の平均の推定

[問題](補充問題)

ある中学校の3年男子121人の体重を測定したものを母集団と考えて、それから5個の標本を任意に抽出したところ、次の数値を得た。

53.0 57.8 44.6 62.1 58.7(kg)

これから、母集団の平均を推定せよ。

[解答欄]

[解答]55.2kg

[解説]

5個の標本の平均は、

$$(53.0+57.8+44.6+62.1+58.7)\div 5=55.24=\text{約 } 55.2(\text{kg})$$

標本の平均と母集団の平均が等しいと考え、母集団の平均を55.2kgと推定する。

[問題](補充問題)

ある中学校の3年生女子245人から、標本として無作為に10人ずつ4回選び、その身長を平均値を計算したら、次のようになった。この中学3年生女子の平均の身長を推定せよ。

154.3 158.2 157.6 155.9(cm)

[解答欄]

[解答]156.5cm

[解説]

$$(154.3+158.2+157.6+155.9)\div 4=156.5(\text{cm})$$

[問題](補充問題)

ある市の中学 3 年生の 1 か月間のおこづかいの平均を求めるために、1 回に 100 人の生徒を無作為に抽出し、その 100 人の 1 か月のおこづかいの平均を調べた。この調査を 5 回行ったところ、次の表のような結果が得られた。この市の中学 3 年生の 1 か月間のおこづかいの平均を推定せよ。

調査	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目
平均金額	2540 円	3040 円	2860 円	3210 円	2960 円

[解答欄]

[解答]約 2920 円

[解説]

$(2540 + 3040 + 2860 + 3210 + 2960) \div 5 = 2922 = \text{約 } 2920(\text{円})$

【】母集団の比率の推定

[問題](3 学期)

ある工場で作ったクッキーの中から、24 枚のクッキーを無作為に抽出したら、その中の 3 枚が割れていた。この工場で作ったクッキー12000 枚の中では、約何枚が割れていると考えられるか。

[解答欄]

[解答]約 1500 枚

[解説]

この工場で作ったクッキー12000 枚の中で割れているもの数を x 枚とすると、

$$(\text{クッキーの数}) : (\text{割れているクッキーの数}) = 12000 : x \cdots \textcircled{1}$$

無作為に抽出した 24 枚のクッキーのうち、割れていたものは 3 枚なので、

$$(\text{クッキーの数}) : (\text{割れているクッキーの数}) = 24 : 3 = 8 : 1 \cdots \textcircled{2}$$

①と②の比が等しいと考えると、 $12000 : x = 8 : 1$

比の内項の積は外項の積に等しいので、 $x \times 8 = 12000 \times 1$

よって、 $x = 12000 \times 1 \div 8 = 1500$ (枚)

[問題](3 学期)

ある湖で生息している鯉の数を調べるために、200 匹の鯉を捕獲し、それらの鯉すべてに印をつけて元に戻した。数日後に、無作為に 80 匹の鯉を捕獲したところ、印のついた鯉は 5 匹であった。この湖の鯉の総数は約何匹だと考えられるか。

[解答欄]

[解答]約 3200 匹

[解説]

この池にいる鯉の数を x 匹とする。そのうち、200 匹に印をつけたので、

$$(\text{鯉の数}) : (\text{印のついた鯉の数}) = x : 200 \cdots \textcircled{1}$$

数日後、つりあげた 80 匹の中で印がついたものが 5 匹だったので、

$$(\text{鯉の数}) : (\text{印のついた鯉の数}) = 80 : 5 = 16 : 1 \cdots \textcircled{2}$$

①と②の比が等しいと考えると、 $x : 200 = 16 : 1$

比の外項の積は内項の積に等しいので、 $x \times 1 = 200 \times 16$ 、 $x = 3200$ (匹)

[問題](3 学期)

袋の中に米がたくさん入っている。その数を数えるかわりに、米 100 粒を別に用意して色を付けて、袋の米に加えた。よくかき混ぜた後、その中からひとつかみ米を取り出して調べたところ、全部で 96 粒あり、その中に色のついた米は 8 粒あった。はじめに袋の中に入っていた米は、約何粒と考えられるか。

[解答欄]

[解答]約 1100 粒

[解説]

袋の中に含まれている米粒の個数を x 個とする。これに 100 粒の色のついた米を加えたので、(米粒の数) : (色のついた米粒) = $(x + 100) : 100 \cdots \textcircled{1}$

つかみだした 96 粒の中に色のついた米粒が 8 粒含まれていたため、

(米粒の数) : (色のついた米粒) = $96 : 8 = 12 : 1 \cdots \textcircled{2}$

①と②の比が等しいと考えると、 $(x + 100) : 100 = 12 : 1$

比の外項の積は内項の積に等しいので、 $(x + 100) \times 1 = 100 \times 12$

よって、 $x + 100 = 1200$, $x = 1200 - 100 = 1100$ (粒)

[問題](3 学期)

袋の中に白と黒のご石が合計 3000 個入っている。この中から 20 個取り出して白のご石を数え、袋に戻す作業を、5 回繰り返した。取り出した 20 個の中の白の基石の数は、9 個、8 個、10 個、11 個、7 個であった。袋の中の白のご石の数は約何個と考えられるか。

[解答欄]

[解答]約 1350 個

[解説]

取り出した 20 個のご石の中の白い石の個数の平均は、 $(9 + 8 + 10 + 11 + 7) \div 5 = 9$ (個)

袋の中の白のご石の数を x 個とすると、

(全体の個数) : (白の個数) = $3000 : x \cdots \textcircled{1}$

取り出した 20 個の中には、平均 9 個の白いご石が含まれているので、

(全体の個数) : (白の個数) = $20 : 9 \cdots \textcircled{2}$

①と②の比が等しいと考えると、 $3000 : x = 20 : 9$

比の内項の積は外項の積に等しいので、 $x \times 20 = 3000 \times 9$

よって、 $x = 3000 \times 9 \div 20 = 1350$ (個)

[問題](3 学期)

ある中学校の 3 年生 300 人から、無作為に 50 人を選んで調べたところ、虫歯のない生徒は 24 人であった。このとき、次の各問いに答えよ。

- (1) 母集団は何か。
- (2) 標本は何か。
- (3) 3 年生全体では虫歯のない生徒はおよそ何人と推定できるか。

[解答欄]

(1)	(2)
(3)	

[解答](1) ある中学校の 3 年生 300 人 (2) 無作為に選ばれた 50 人 (3) 144 人

[解説]

母集団である 3 年生全体 300 人のうち虫歯のない生徒の人数を x 人とする、

(生徒数) : (虫歯のない生徒数) = $300 : x \cdots \textcircled{1}$

無作為に選ばれた 50 人のうち、虫歯のない生徒は 24 人であったので、

(生徒数) : (虫歯のない生徒数) = $50 : 24 \cdots \textcircled{2}$

①と②の比が等しいと考えると、

$$300 : x = 50 : 24$$

比の内項の積は外項の積に等しいので、 $x \times 50 = 300 \times 24$

$$x = 300 \times 24 \div 50 = 144$$

[印刷/他のPDFファイルについて]

※ このファイルは、FdData 中間期末数学 3年(7,800円)の一部をPDF形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版のFdData 中間期末数学 3年はWordの文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

※FdData中間期末(社会・理科・数学)全分野のPDFファイル、および製品版の購入方法は<http://www.fdtex.com/dat/>に掲載しております。

下図のような、[FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData2)]を、Windows のデスクトップ上にインストールすれば、FdData 中間期末・FdData 入試の全PDFファイル(各教科約1800ページ以上)を自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

RunFdData 【<http://fddata.deci.jp/lnk/instRunFdDataWDs.exe>】

※ダイアログが表示されたら、【実行】ボタンを左クリックしてください。インストール中、いくつかの警告が出ますが、[実行][許可する][次へ]等を選択します。

【イメージ画像】



【Fd教材開発】 (092) 404-2266

<http://www.fdtex.com/dat/>